

育ちの芽



副園長 奥村 綾

～いよいよ運動会～

各学年運動会に向けての活動が盛り上がっています。

みどり組で入場行進の話をしていたときに、子ども達から「オリンピックみたいなゲームの曲で入場したい。」「オリンピックの開会式の時、踊ってる人いた。」等の意見がでました。そこで今年は、みどり組の子ども達が選んだ曲で入場することになり、先日、全体で開会式をしました。子ども達は、大きな旗や国旗を持ったり、旗を振ったり、手を振ったりしながら、嬉しそうに入場してきました。入場中、曲に合わせて踊りを披露する子ども達もいました。運動会当日は、それぞれクラスで考えたパフォーマンスを見せてくれると思いますので、保護者の皆さんは、オリンピックの開会式をイメージしながらご覧くださいね。

年長組になって3クラスで初めてリレーを行った時のこと。年中組の時に各クラスで取り組んだり、年長になってからも、クラスでリレー遊びをしたことがあるので、ルールは理解していました。運動会用の番号が付いたビブスを着て行うという事で、前日から楽しみにしている子、走る前緊張している顔の子、負けることが嫌な子、1人で走ることに不安のある子、先生と一緒に走ったら走れる子、走りたくない子など、いろいろな感情の様子が見られました。

どうしても走りたくない子(Aちゃん)がいました。先生が声を掛けたのですが、あまり乗り気ではなかったので、仲の良い友達に声掛けをお願いしてみました。リレーが始まってバトンが回って来た時、2人で相談したのか、Aちゃんとその友達と一緒に走り出しました。先生達は止めずに見守っていると、第1コーナーで友達にバトンを渡し、友達が残りを走ってバトンを次の走者に繋ぎました。第1コーナーで友達にバトンを渡した後も、Aちゃんは最後まで1周走りました。大人では考えつかないような2人のアイデアに、感心した出来事でした。2回目のリレーからAちゃんは、自信をもって1人で1周走っています。

各クラス『バトンをもらうときは後ろを向く』『まっすぐ走る』『自分で速いと思う走り方で走る』等作戦を考え、取り組んでいます。『楽しい』気持ちから『悔しい!勝ちたい!』の気持ちに変わってきています。子ども達だけで取り組むリレーには、幼児期の子どもにとって必要な育ちがたくさんあります。当日は、勝敗だけではなく、それぞれ子ども達のさまざま

まな気持ちの葛藤やこころの成長など、保護者の皆さんも一緒に見守っていただきますよう
ご協力よろしくお願いします。

年中組は、パプリカの曲に合わせてパラバルーンをします。『風船』や『きのこ』がお気に入り
で、技の一つ一つを楽しんでいます。パラバルーンから『ばあっ!』と顔を出す、『いな
いないなばあっ!』の技では、毎回一人ひとり違う表情を見せてくれます。

年中組のパラバルーンが始まると、年長組さんが2階のベランダから見ていて、『風船』が
膨らむと拍手をしてくれたり、技が決まると、手で大きな丸を作ってくれたりします。『花火』
の技では、自分たちのいるベランダより高く飛んだ花火玉に

「わあーすごい飛んだー！今の宇宙まで届いたで。だって雲がやぶれているもん。」と、大
歓声をあげていました。

かけっこでは、カーブを走るのですが、初めて走った時には、コーナーに置いているコー
ンの内側に入ってワープする子がいたり、よーいドンの声がかかると、何回も何回も走っ
ている子もいました。休みの日に速く走れるように練習している子もいるようです。

年少組は、ダンスの曲がかかると、保育室ではノリノリで踊っている姿が見られますが、
先日戸外では、他のクラスの子や先生が見ていたからか、全く動かなかったり、ずっとた
たずんでいる子もいました。当日は、もっと周りが気になる状況なので、普段のノリノリの様
子が見られないかもしれませんが、楽しんで取り組んできた過程を想像しながら、温かく見
守ってくださいね。また、恐竜の曲に合わせて踊るという事で、子ども達から、恐竜を作り
たいという案が出ました。お面にするか飾るかそれぞれ自分で決め、紙を切って色を塗った
り、貼ったりして思い思いの恐竜が出来上がりました。中には、自分の頭よりお面が大きく
仕上がり、ダンスをするたびに落ちてしまうので、お面から飾りに変更する子もいました。

運動会当日は、ダンス終了後に保護者席近くに展示しますので、一人一人の作品をご覧に
なってください。

先日、来年度入園する親子が幼稚園を見学に来ました。受付の名前を見ると、私が2年目
の時に担任をしていた子だったので、「〇〇ちゃん?!」と声を掛けました。すると、

「先生覚えてくれたんですか!」とびっくりした様子で、「先生が幼稚園にいることは聞いて
知っていたので、覚えていてくれたら嬉しいなって母と話してたんです。」と、ポロポロと
涙を流して喜んでくれました。お互い30年前?の記憶がよみがえり、懐かしく当時の様子を
話しました。幼稚園の時のことをよく覚えていてくれたことに感動し、大変嬉しい気持ちに
なりました。何年経っても子ども達の記憶に残る、そんな幼稚園でありたいと強く思いま
した。